



GNSS Signal Interference Monitor Service
危機を嗅ぎつける。

お問い合わせ先

ライトハウステクノロジー・アンド・コンサルティング株式会社
〒160-0022 東京都新宿区新宿 6 丁目 12-5-502
Tel:03-3353-4668 E-mail: support@LighthouseTC.jp
<http://www.lighthousec.jp/>

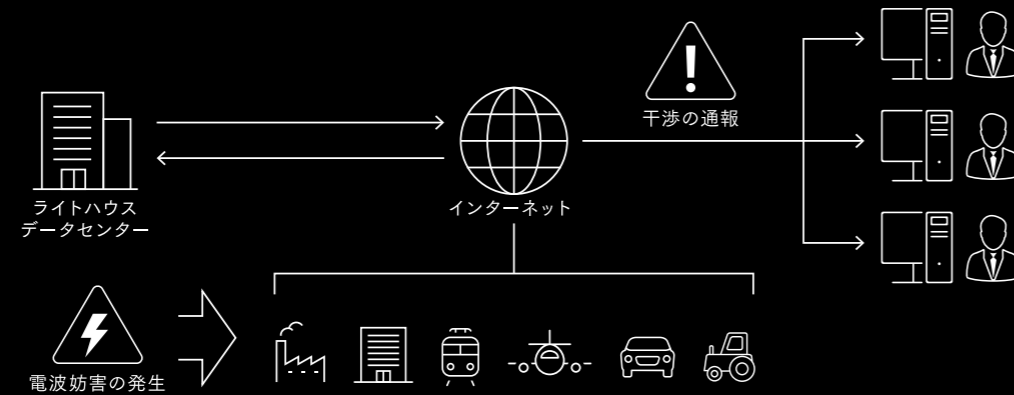
GNSS 信号干渉モニタ

GNSS Signal Interference Monitor Service

概要 / Overview

衛星からの情報は、カーナビなどの現在位置情報だけでなく、様々なシーンで活用されてきています。将来期待される自動車や建設・農業機械の自動運転では、測位の継続性や精度の向上が欠かせません。衛星の持つ超高精度な時刻情報はリモートでの時刻同期などで、電力や金融取引という重要なインフラで利用されていますが、電波妨害などに対する備えは万全とはいえません。GNSS信号干渉モニターサービスがその備えを支援していきます。

サービス構成 / Outline diagram



特徴 / Feature

本サービスは衛星からの信号を広範囲かつ継続的に受信、集約、モニターしています。衛星からの電波が干渉を受けている可能性を感知し、契約顧客へ通報します。電波干渉を受けているときには衛星利用以外のバックアップへ切り替えるなど、重要な判断を下すための情報を提供いたします。

干渉通報のメリット

- ・バックアップシステムへ切り替え
- ・関係各方面への通達
- ・緊急体制構築
- ・ユーザーへの注意案内
- ・障害原因の切り分け

	GPS利用	妨害・干渉による生じるリスク
電力会社	時刻同期	停電、送電障害
データセンター	時刻同期	誤取引、遅延取引、誤認証、システム障害
金融機関	時刻同期	誤送金、取引不能、ATM停止
システムインテグレータ	時刻同期	金融システム障害
製造業	時刻同期	生産ライン停止
建設	測位	現場事故、工事中断
航空	測位	離着陸混乱または不能、航空事故
鉄道	時刻同期	運行障害、鉄道事故
自動車	測位	交通事故、渋滞
通信キャリア	時刻同期	通話不能、大規模システム障害
警察 / 消防	測位	緊急出動への影響
政府 / 自治体	時刻同期	大規模インフラ障害

プラン	用途例	対象ユーザー	サービス内容
エンタープライズ 法人契約 Enterprise Corporate Contract	ナビゲーション 自動運転、時刻同期等の障害危険予知	電力、通信、鉄道、航空、公共インフラ、金融、データセンター、サーバーーム、製造、化学、プラント、物流、建設、防犯セキュリティ、位置情報サービス事業者、コンテンツ配信事業者、警察、消防・救急、政府、自治体、公共団体 等	自社拠点内に受信・データ送信機を設置して、自社限定の監視・通報受信体制を構築する。 監視データは他のユーザーには公開せず、当該契約ユーザーのみが干渉通報受信、Web画面での監視局状態と履歴確認を行うことができる。
一般契約 Standard Contract		企業、個人	当社が販売する機材を購入設置し、ネット経由でリアルタイムデータを送信。エンタープライズユーザー以外すべての監視局の干渉通報受信、Web画面での干渉監視局の位置と履歴確認を無償で行うことができる。
サポーター監視局契約 Supporter Contract	GPS障害・干渉の実態調査	大学、研究機関 等	当社が無償提供する機材を設置し、ネット経由でリアルタイムデータを送信。エンタープライズユーザー以外すべての監視局の干渉通報受信、Web画面での干渉監視局の位置と履歴確認を無償で行うことができる。